

山口東

上関原発 海上ボーリング一時中断 知事「工事日程影響か」

中国電力が上関町で計画する上関原発予定地海域での海上ボーリング調査が一時中断されたことを受け、村岡知事は27日、免許期限を2023年1月までとした公有水面埋め立てについて、工事全体のスケジュールに影響する可能性に言及した。同日の定例記者会見で質問に答えた。

村岡知事は「(ボーリング調査が)順調に進む前提で埋め立てのスケジュールが組まれており、影響は出てくると思う」と述べ、「今の状況どう対処するかは中国電が考えるべき」などと答えた。

中国電は、県から今年7月に免許の再延長許可を得る際、6カ月のボーリング調査を含めて3年6カ月が必要

と説明。ところが台風シーズンなどを理由にボーリング調査に必要な占用許可申請が当初予定よりも大幅に遅れ

た。県から許可を受けた後も、反対派住民の海上抗議行動や雨天で着手できず、今日16日に一時中断を発表し

た。
再開は来年4月以降になる見通しで、埋め立て工事全体への影響も指摘されているが、中国電力上関原発準備事務所は「許可の期限内に埋め立て工事を終えたい」と述べるにとどまっている。

【村岡 雄】